

# 第11回 中学生 まちづくり議会

次代の本庄市を担う中学生に、市政への関心を深めてもらうことを目的に実施している「中学生まちづくり議会」。今年度は新たに本庄第一中学校が加わり、市内6中学校の代表者たちから、市政に対する質問や提案がされました。ここでは、中学生議員から挙げられた質問や意見の一部と、議員提出議案の内容を紹介します。



参加生徒（敬称略）

【本庄東中】 栗原大弥・福島亜実・福田直也 【本庄西中】 黒沢のはな・安田雄大・中村萌々香 【本庄南中】 渡辺竜仁・富田優愛・新井創悟 【児玉中】 折手宏綺・高岸ななみ・田邊月渚 【本庄東高等学校附属中】 松本尚樹・井上孟哉・松本奈々 【本庄第一中】 村山菫・室屋那々子・西村律輝



## 議員提出議案 地球を守ろう★エコ運動

本庄東中では、無言膝つき清掃やあいさつ運動などに意識を向ける生徒が増えていますが、環境に関する取り組みにはまだまだ課題があります。移動教室の時に教室の蛍光灯がついたままだったり、夏には、扇風機が回ったままになっているクラスもありました。そして、まだ裏紙利用できるプリントもそのままゴミになっていることがあります。清掃活動に熱心に取り組む一方、ゴミの行方について考えていない生徒が多くいます。地球を取り巻く環境はますます深刻化しています。便利で

快適な生活が環境問題と密接につながっていることに気付いていない生徒が多くいます。そこで、自分の生活を見つめ直し、環境に配慮した生活を送れるよう「地球を守ろう★エコ運動」を提案します。生徒一人ひとりが環境問題に関心を持ち、生活と環境問題との関わりについて理解できるようにしていきたいです。「蛍光灯を1時間使うとこのくらいの二酸化炭素が出る」「水の出っぱなしは、どのくらいの水を無駄にしている」など具体的に示し、自ら意識して行動できるようにしていきたいです。そうすることで、普段の生活の中から環境とのつながりを考え、地球に対してやさしい選択ができるのではないのでしょうか。今回これを取り上げることで、市内中学生の「地球を守ろう★エコ運動」を目指していきたいと考えています。中学生が中心となって取り組むことで、市民全体の環境への意識が向上し、持続可能な社会の実現につながっていくと思います。



本庄第一中学校  
西村 律輝 議員

## 本庄駅周辺の街づくりと 街おこしについて

質問：市が行っている若い人にとって魅力のあるまちづくりの具体例を教えてください。また、プララ跡地にスポーツ施設を作り、東京オリンピックの候補種目となったスカッシュを市のスポーツと位置づけ、スカッシュを通じた街づくりに取り組んでみてはどうでしょうか。

回答：若い人たちに市に魅力を感じてもらうには、本庄駅周辺のまちづくり、特に北口周辺市街地の再生と活性化が重要だと考えています。はにぼんプラザ、旧本庄商業銀行煉瓦倉庫などの積極的な活用や、駅前周辺の整備に取り組み、街の活性化を図りたいと思います。議員提案のスカッシュを通じた街づくりは大変魅力的です。一方で、コート整備には市民の盛り上がりや、企業の協力などがが必要です。また、プララ跡地は市の土地でなく、市だけで利用方法を定めることはできません。しかし、特徴のあるスポーツをまちづくりに活かすという今回の提案は大切な考え方だと思います。現在進めている取り組みとともに、スポーツを活かした新たなまちづくりを勉強していきたいと思っています。



本庄南中学校  
新井 創悟 議員

## はにぼんを活用した 市のPRについて

質問：はにぼんが他の市町村に行く時に、文化財や観光地を紹介して市の魅力を発信してはどうでしょうか。また、人口を増やすには子育て支援にホームページを活用し、積極的に情報発信することが大事だと思いますが、人口を増やす取り組みについてどのようにお考えですか。

回答：はにぼんは市内外を問わずイベントに積極的に参加し、会場で観光ガイドマップなどを配布し、文化財や観光名所を一生懸命PRしています。今後もはにぼんは、全国に情報を発信し、市の知名度向上に努めていきたいと思っています。また、子育てに関する情報は、ホームページで情報を集約して掲載するほか、子育て応援モバイルサイトを開設し、若い世代の人に情報が届くよう努めています。市では、人口減少は一つの取り組みで食い止められるものではなく、少子化対策と人口を増やす取り組みを同時に進めていくことが大切だと考え、行政施策を進めています。みなさんにも、今後ともこの問題にどう取り組むべきか、いろいろと学び、考えていただくことを心から期待しています。



本庄西中学校  
中村 萌々香 議員

## 本庄市の環境への取り組みについて

質問：5月に行っている全市一斉清掃の回数を増やして清掃活動を活発にしていったり、呼びかけなどの広報活動を行ったりして、ゴミを捨ててはいけないような雰囲気をつくっていくことはできないでしょうか。中学生と地域と一緒に活動することで、学校と地域の連携もより強くなり、ゴミを捨てる人も減ると思います。

回答：市民のみなさんが一斉に美化運動を行うことは、ゴミは捨ててはいけないという雰囲気をつくり、一人ひとりがさらに環境への意識を持って行動していくことにつながっていくものと思います。また、美化運動に向けた呼びかけを中学生のみならずと一緒に発信することは、幅広い世代のみなさんの環境保全意識の高まりにつながるものであり、ご提案いただき大変うれしく思います。この提案は、ぜひコミュニティ協議会等へお話をさせていただきたいと思います。より多くの人に全市一斉清掃に関心を寄せてもらうために、どのように呼びかけ発信をしていけばよいのか、みなさんと一緒になって考えていきたいと思っています。



本庄東中学校  
福田 直也 議員

## 藤田・仁手地区の 道路整備・土地活用について

質問：本庄早稲田駅を中心に開発が進んでいますが、藤田・仁手地区でも、空いている土地に商業施設や公園を作ることで活性化につなげたり、農産物をいかした取り組みはできないでしょうか。

回答：安全・安心なまちづくりには、市内すべての地域が同じように開発されるのではなく、現在ある環境を大切にしながら、地域の住みよさを考えていくことも必要です。優良な農地や豊かな自然は、藤田・仁手地区の大きな「強み」だと思います。現在、藤田・仁手・旭地区を通る国道17号線のバイパス整備計画が進んでおり、それにあわせて「道の駅」などの整備を実現したいと思っています。地元の産業・農産物をいかした「道の駅」実現の構想は、地域の活性化を願う議員の思いにも応えられるのではないかと考えます。また、農産物をまちづくりにいかすには、意欲ある農業者を増やし、農産物をPRすることが大切です。新規就農者の育成や、農業をPRするパンフレットを作成して、全国に本庄市の農業をPRし、人を呼び込めるよう取り組みたいと思います。



本庄東高等学校附属中学校  
井上 孟哉 議員

## はにぼんプラザ（学習室）の 活用について

質問：はにぼんプラザの活動室の一部を学習室として使用できませんか。または交流スペースの一部を階によっては「学習スペース」として静かな空間にできないでしょうか。また、改修後の図書館の運営について、学習スペースの定員数や環境作り、管理体制はどのようになっていますか。

回答：テスト期間など、多くの中高生の利用がある期間には、個人学習ルームをはじめ、各階の交流スペースのほとんどがいっぱいになり、座れない人も多く出てしまいます。そのため、そのような場合は、空いている活動室を随時「臨時学習ルーム」として開放しています。一方で交流スペースについては、世代を超えた人たちが交流する場としており、生徒さんだけではなく、地域のみなさんが使えるような場としていることをご理解いただきたいと思います。改修後の図書館の学習スペースについては、図書館2階に静かな環境が保たれる読書室を整備し、75席が利用可能です。開館時間内であればいつでも利用できますので、ぜひ、勉学の場として、積極的にご活用いただきたいと思います。



児玉中学校  
田邊 月渚 議員

## 自転車事故防止について

質問：市では交通事故を減らすためにどのような取り組みをしていますか。また、事故や交通量の多い場所に自転車専用レーンを設置すれば、事故も減るのではないのでしょうか。

回答：交通安全教室の実施や、交通安全運動を通して啓発活動を実施するほか、道路照明灯、カーブミラー、区画線などの整備と適正な管理で交通事故の防止を図っています。議員提案の自転車専用レーン設置ですが、自転車と歩行者の安全を考え、まずは本庄駅から本庄早稲田駅に向かう道路で、歩行者と自転車の通行部分の分離を行いました。現在、本庄駅から市役所を結ぶ道路でも、歩道のバリアフリー化に合わせ、自転車レーンの整備を進めています。このように、道路幅の広いところでは整備を進めていますが、幅の狭い道路では自転車専用レーンを作るわけにいかず、全ての道路に自転車専用レーンを整備することは難しいところだと思います。そのため、狭い道路では注意して運転してほしいと思います。みなさんも、自身の安全運転とともに、周りへの働きかけをお願いします。

※質問・答弁・議員提出議案の内容は、要約して掲載しています。ご了承ください。